

ChatGPT の使い方の本だと思っていたら、気がついたらウルトラマンとゴジラの英会話を読まされるハメになるなんて！ 単なるマニュアル本と思ってこの本を手にしたかたは、いろいろビックリなされたことでしょう。

「ChatGPT を活用する」といっても、そもそも **ChatGPT にはどんなことができるのか**。その限界線ギリギリのところかわかっていれば、「それならもっともっと、こんなこともさせてみよう！」と、あれこれいろいろな発想がわいてくるというものです。

まずは本書でお示したようなプロンプトを ChatGPT に投げかけてみてください。「英語力アップ」をめざして ChatGPT と対話する体験を広げていくところから始めましょう。

あらゆる英文を中学英語レベルの英文に書き換えさせる



ユーザーのプロンプト

Rewrite the following passage, using elementary vocabulary:

(以下のくだりを、初級語彙を使って書き換えてください:)

こういうプロンプトを与えて、そのすぐ下に英文を貼り付けて Enter のアイコンを押せば、**中学英語の力で読める由緒正しい英文**が秒速で作成されます。

「ことばの上達は、やさしめの文章を多読することから！」とよく言われます。しかし、**自分の関心領域で内容もたためになるやさしめの英文**をとると、そう簡単に探し出せるものではありません。ネット上のニュース記事であろうが、Wikipedia の記事であろうが、どんどん「やさしい英語」ヴァージョンに変換してくれる ChatGPT は、外国語学習者にとって実に頼もしい存在です。そういう形で ChatGPT を使ってみてはいかがでしょうか。

楽しくなければ語学じゃない！

この本の書名を『ChatGPT で学ぶ英語の底力』ではなく、『ChatGPT が変える英語学習の底力』としたのは、なぜでしょう。

世の中には、ためにはなるが、クソ面白くもない英語教材であふれかえています。でも、**言語の習得とはいわば極めつけの遊び**、のはずです。楽しくなくっちゃ、語学じゃない！ ChatGPTこそが**英語の学び方を質的に変えてくれる救世主**だと、わたしは思うのです。

これまでの本書の流れの総括として、ChatGPT に「論点提示能力」「会話作成能力」を存分に発揮してもらい、**相手を説得して自分の主張を受け入れさせる会話、適度なところで妥協してまとめに入る会話のサンプル**を作ってもらいましょう。「**英語によるディベート**」のサンプルを作ってもらわねえ。

読者の皆さんも身近にいろいろな懸案をかかえていることでしょう。自分の主張を相手にどううまく受け入れさせるか。総合商社勤務のころ、わたしの日々の仕事の本質はそれでした。それを